

経営改善の視点はグローバル化への対応 価値創造への取り組みにも熱い議論を期待

今年のJATA経営フォーラムのテーマは、「グローバル視点で強くなる！〜新たな価値創造に向けて」。インターネットの普及を通じて、旅行ビジネスの分野においてもポーターレスな取り引きが急速に拡大し、旅行会社にとってもグローバルな視点に基づく経営戦略や事業展開が求められる時代を迎えています。そうした時代の要請に応えるべく企画された今年のJATA経営フォーラムについて、JATA旅行業経営委員会の石川委員長と今副委員長及び経営フォーラム部会長に、その狙いや期待などを語り合っていました。

LCC、ツーウェイツーリズムなど、グローバル化を紐解く4つの課題

Q JATA経営フォーラム2013のテーマとして「グローバル視点で強くなる！〜新たな価値創造に向けて」を設定した狙いをお聞かせください。

石川委員長 周知の通り、旅行業



「日本のプレゼンスをいかに向上させるかが大きな課題」
石川邦大 委員長

界を取り巻く環境は激しく変化しています。とりわけ、大きな変化としてはインターネットの普及とグローバル化の進展の2つがあげられるのではないのでしょうか。インターネットの普及に伴うビジネスモデルの変化については経営フォーラムも含め、今までさまざまな機会に取り上げられてきたので、今回の経営フォーラムでは、グローバル化をキーワードにテーマを設定しました。ツーウェイツーリズムをいかに推進していくか、あるいは商取引のグローバル化に伴う法規制の問題がどうなっているか、国際航空輸送の自由化を追い風にしたLCCの路線拡大にどう対応していくのか、女性や外国人の人材活用はどう取り組むのか、そのようなトピックについて理解を深めていければと考えています。

また、「グローバル視点で強くなる！」という部分では、旅行業界以外の分野でも、例えば、家電業界でサムソンやアップルといったグローバル展開を進めている外国企業が、世界的にも強味を發揮しているという状況もあり、旅行業界においても、今後グローバルな視点に基づく展開が重要な課題になってきますから、経営フォーラムのテーマとして大きく取り上げさせていただきます。

また、「グローバル視点で強くなる！」という部分では、旅行業界以外の分野でも、例えば、家電業界でサムソンやアップルといったグローバル展開を進めている外国企業が、世界的にも強味を發揮しているという状況もあり、旅行業界においても、今後グローバルな視点に基づく展開が重要な課題になってきますから、経営フォーラムのテーマとして大きく取り上げさせていただきます。

また、「グローバル視点で強くなる！」という部分では、旅行業界以外の分野でも、例えば、家電業界でサムソンやアップルといったグローバル展開を進めている外国企業が、世界的にも強味を發揮しているという状況もあり、旅行業界においても、今後グローバルな視点に基づく展開が重要な課題になってきますから、経営フォーラムのテーマとして大きく取り上げさせていただきます。

〈対談出席者〉
JATA旅行業経営委員会
石川邦大 委員長
 (トップツアー(株)代表取締役社長)
今 真純 副委員長
 及び経営フォーラム部会長
 (トラベル世界(株)代表取締役社長)

分科会 A

旅行業のグローバル化に伴う法規制のあり方について

モデレーター...

(株)風の旅行社 代表取締役社長

原 優二氏



インターネットの普及・定着によって、国境を越えた旅行素材や旅行商品のオンライン取引も爆発的に増加し、消費者の選択肢は急速に拡大してきています。しかし、旅行業界にとっては、ネット時代が到来する前に改正された現行の旅行業法や旅行業約款では、実態にそぐわないという不都合が生じているだけでなく、今後、グローバル化がさらに進むことも予想される中で、見方によっては、日本の旅行会社が国際的な競争力を相対的に低下させてしまふことにもなりかねない事態が懸念される状況も出てきました。インターネットがもたらした旅行業のグローバル化を踏まえ、ネット時代における法規制のあり方について、課題を整理できればと考えています。